



大宮学事始のメンバー（H19.12.2 十二支講座にて）



## 「大宮学」で地域を活性化させよう

おみやがくことはじめ  
大宮学事始



### 連絡先

#### 大宮学事始 事務局

- 代表 齋藤 信治
- 電話 048-641-8418

「大宮の歴史や文化など、多くの魅力を広く市民へ発信し、呼びかけていくことで、地域に愛着を持ってもらい、大宮地域の東西交流の促進につながることを期待してまいります」と副代表の横内さんは語ります。

「大宮二十景」を知っていますか？  
大宮二十景は、区民同士の交流や大宮区の魅力発見をテーマに、大宮区区民会議の企画・提案、大宮区との協働プロジェクトにより、市民からの応募の中から二十の大宮の風景を選定したものです。この選定に関わった区民会議の有志が集い、大宮二十景を基に大宮学に挑戦しようと、平成19年4月1日に発足した団体が「大宮学事始」です。  
近年、地域学と呼ばれる活動が全国で盛んになってきており、ここでいう「大宮学」とは、大宮に残された歴史や文化の遺産を、市民と一緒に深く深く学んでみようという取り組みです。メンバーは50代から70代までのボランティア活動に取り組み、現役世代の方、定年退職をされた方など多方面で様々な経歴を持ち、そして大宮が大好きな男女10名が活動しています。

これまで、より多くの方に大宮の魅力を知ってもらうために、講演会やイベント等をすべてメンバーの手作りで企画し、参加者と共に学んでいます。昨年度は、氷川神社や大宮公園を取り上げた連続講演会「歴史に秘められたびつくり謎」、鉄道博物館の開館を記念した「大宮区民鉄道まつり」、十二支講座「大宮の十二支」などを企画・開催してきました。十二支講座は子年を皮切りに、干支が一回りする12年間毎年続けていく予定とのことです。

参加者にはリピーターも多く、また大宮区域以外の参加者もあり、大宮という地域を知る機会として市民の関心は高いようです。「大宮には歴史的・文化的遺産の宝物がたくさんある。そんな魅力ある大宮の歴史や文化を若い世代に継承し、そして地域を活性化していきたい」と代表の齋藤さんは語ります。

今後は、大宮学で地域の魅力や可能性を発掘し、そのすばらしさを市民、県民、全国へ発信すること。そして、この活動に各層にわたる世代の男女が共に参画することにより、市民の力で魅力あるまちづくりを進めていきたいと、夢は大きく膨らみます。

（2007年12月12日 取材）

## 広告スペース

